

## ○ 隊員情報

- ・氏名：隠岐 一徳(おき かずのり)
- ・前住所：三重県桑名市
- ・担当地域：伊予市全域
- ・活動内容：空き家対策&利活用発案



## 【活動① 空き家情報収集とまとめ】

### ■地域の集会に出席して空き家情報収集+資料作り(中山地域、双海地域)

中山地域事務所&市役所職員&商工会議所&地域団体&地域住民から管理情報を得て、現地視察、記録写真、管理情報をデータ化&ファイル資料作成(市役所保管用)、物件所有者へ啓発文章を郵送。

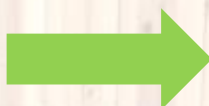
(第1次 中山地区空き家情報まとめ は完了し、現在第1次双海地区空き家情報収集を行っている最中。情報まとめ終了後、旧伊予市地区にとりかかる予定。その後も1年の中で様々な会に出席し、情報を更新していく。)



- ・中山空き家情報約 110 件のうち、郵送可能(固定資産税先&相続が複雑ではない先)だったのは約 60 件で連絡があったのは約 15 件ほど。  
今回連絡がなかった物件に関しては今後もアプローチしていく予定。
- ・双海空き家情報は現在約 200 件ほどだ。恐らく約 250 件ほどになる見込みで、視察&まとめ次第、啓発文章を郵送予定だ。



Before



After

- ・上記写真は一例だが、当時一階分の高さまで雑草が伸び、物件状態の確認が困難だったが、先日所有者さんから空き家バンク登録の為にどのような見栄えにしたらよいか相談があり、雑草に加え木まで綺麗に整備したことで見違える家となった。空き家のほとんどはこういった場合が非常に多く、維持管理の重要性を改めて感じた。



- ・お祭り時、出張空き家相談室を行ったり、地域住民の情報以外にも直接地域をまわって情報収集を行った。

空き家を知り、人と関わり、ようやく継続できる仕組みと流れができ、現実的な数字での対策はこれからとなるが、結局人と人の繋がりや信頼関係がもっとも重要ということが活動を通して一番感じた。それをせず、ただ情報を集め、対策を進めることは揉め事の要因につながるおそれがあるので、今後も継続的に地域に残り関わっていく。空き家増加は日々加速しており、情報も日々変化している。対策は住民一人一人に協力して頂いてようやく可能となる状態だ。これからも協力しながら活動していきたい。



## 【活動② JAPANNESIA UMI との関わり】

### ■空き家を通して、多種多様な人と共同作業を継続していく学び

伊予市が生まれ故郷ではない自分が人の繋がりや輪を広げ、地元と思える場所にしていくには、継続的活動が何よりも大事と考える。この2年 JAPANNESIA 株式会社から始まり、外国人、県外の人、市外の人、伊予市の人、年齢や立場、想いも違う人が月一回交流し継続していくことは貴重な経験とかけがえのない繋がりとなった。



- ・空き家改修から交流がはじまり、ご飯会、大学生企画による継続イベント、ふるさとワーキングホリデー、そして終わらない DIY (床の間を本棚、シロアリだらけの壁天井をやり替え、外の外壁を焼杉、ウッドデッキ、駐車場にしていた庭全てに防水シートと砂利) どれも空き家からここまでの人の広がりになるとは思わなかった。



- ・以前は一人で製作したカーテン作りを8人で製作。製作スピードは格段に上がり交流もできて、何より出来上がった達成感を皆で味わえる。

\* イベントやお知らせは  
Instagramにてお知らせします。  
フォロー&コメント等  
よろしくお願い致します。



@JAPANNESIA\_HOUSE\_UMI



【活動③ 地域の人との関係値をさらに深め、任期後を考えた行動】

■ お祭りの実行委委員や話し合いに同年代を巻き込んで参加  
任期後を考え、市内外問わず企業との関係構築と資格取得&物件取得

定住するつもりで伊予市を移住先に選んだわたしは着任からずっと変わらず  
地域の人との交流を大事にしてきた。そして散々呑んで、話して地域の輪に

入れてもらって本当に感謝している。商店街に同年代を巻き込みたい！と一歩進んだ今年。これからも無理なく、広げつつ、年数かけてより良い関係性にしていきたい。また任期後食べていく為の企業との関係構築と資格取得&物件取得をした。



- ・旧伊予市商店街の方々の意見交換、商店街祭りの実行委委員。
- ・3年間続けた双海地域での司会(公民館まつり、ほたる祭りなど)、恒例のビーチサッカーとトライアスロンスタッフ。
- ・2年目の手話教室(奉仕委員獲得)、船舶3種類獲得、ダイビング2種類獲得。
- ・海が見える物件を取得し企業テナント改装デザイン出しと運営方法を検討中。